

船越保育園バス送迎

危機管理は十分か

問 運行区間はどこからどこまでか。また、今騒がれている送迎バスの危機管理が十分施されているか。

健康子ども課 送迎バスは子どもたちが大浦地区から船越保育園へ通うバスで、大浦漁村センター発、船越保育園行き。また、保育士が必ず1名添乗している。子どもの乗車時、

降車時のダブルチェックを徹底して行っている。

問 大浦から船越保育園に通う希望者があればずっと運行するの

か。
健康子ども課 送迎バスは希望制としている。希望者がいる限りは継続して運行する予定。



子どもの見守りに万全を

農業振興

町の新たな特産品へ

問 ほうれんそうを今後拡大したいという農家があるようだが、これを町の特産品として売り出すことができないか。

農林課 現在荒川地区でほうれんそうの栽培を大規模に行っている

農家は、有機農法にも取り組んでおり、生産拡大も視野に入れている。このような方々に頑張ってもらい、産地化について県や農協と協議しながら進めていきたい。

上水道の経営

今後の経営の見通しは

問 昨年度の単年度分のキャッシュフローがマイナスなようだが、今年度以降の経営の見通しは。

上下水道課 今後の経営状況は、人口の減少、老朽化する資産の改

修、また、更新費用の増加により今後ますます悪化すると見込んでいる。昨年度から経営改善支援業務を行い、その中で料金改定の必要性及び実施時期などを検討している。

学習環境

統合の影響はないか

問 学力検査の成果を見ると学力が下がっているように思われる。小学校を統合し、クラスの数が増えたこと

によって、少人数学級で教えていた時よりも学力が下がるということがあるのか。
学校教育課 ここ数年で数値が下がっているのは事実。ただし、統

合によって人数が増えたというメリットにも注目している。人数が増えたことにより、グループ学習、教えあいで学習など、子供たちの中で考えを練りあつて問題解決的な授業を実現するということについては効果が上がっている。



子どもたちのことを考えた学びの場を